

5週間もの長い夏休みを終え、学校に子どもたちの歓声が響くようになりました。3年に渡るコロナ禍に一区切りがついて、初めての夏休みです。日本各地、観光客が戻って来て、賑わいを取り戻している様子が報道されました。空路や鉄道の利用率もほぼコロナ禍前近くに回復したようです。それぞれのご家庭では、どんな夏休みだったでしょうか。“お休みモード”から“学校モード”への切り替えを上手にして、夏休みでの成長を生かしながら、2学期の更なる伸びにつなげていきたいと思ひます。

第5類になったとはいえ、新型コロナウイルスの感染の動向にも引き続き注意をしていかなければなりません。濃厚接触による自宅待機がなくなったことは、元気なお休みさせなければならぬことがなくなり良いことですが、一方で、学校内での感染拡大が起こるリスクは高まっています。新しい株の感染が広がっているとも聞きます。むやみに恐れることはありませんが、換気等の可能な感染対策は継続していきます。ご協力をお願いいたします。

夏休み中から、特別教室へのクーラー設置工事が始まっています。教室は空調が効いて涼しくても、音楽室や理科室は耐えられない暑さ…ってことがなくなります。ただし、工事の完了が、2学期開始に間に合わないため、学校が再開しても工事が続きます。ということは、この夏にはクーラーの恩恵がないかもしれません。ごめんなさい。

どの子にとっても「今日が楽しく明日が待ち遠しい玉島小学校」であることを目標に、この2学期も全教職員で力を尽くして参ります。保護者の皆様のいっそうのご支援をお願いいたします。

校長 高木 盛雄

## ☆熱中症への対策を！

2学期スタートにあたって、最も心配しているのは熱中症です。気象情報でも、今後もしばらく残暑（酷暑と言った方がいいかもしれません）が続く見込みです。先日の登校日も、業間時間、暑さ指数が基準値を超えてしまったので、屋外での活動を中止にしました。こまめな水分補給も呼び掛けていきます。各自、水筒は持たせてくださっていると思いますが、1日の生活で十分に足りる量かどうか、お子さんの様子を聞いていただいて、調節していただくと助かります。ただ、水分補給を頻繁に行ったため、下校までに水筒が空になった場合には、水道水で対応させていただきますのでご承知ください。

北海道で、学校での活動中に熱中症により小学生が命を落とすという悲しいニュースが流れました。北の大地でも起こってしまうということは、より嚴重に対処していかなければならないと、気を引き締めています。下校時刻も暑い時間帯になると思います。これまでは、「道草せず、まっすぐ家に帰りなさい」と指導してきていましたが、状況によっては、日陰等の涼しいところで一休みし、水分を補給することも必要かもしれません。調子が悪くなった場合に、助けを求め方もアドバイスしていかなければなりません。通学路等で、安全に休める場所があるか、助けを求められるところがあるか、ご家庭でも話題にしてみてください。また、家に帰りついてから症状が悪化する場合も心配です。帰宅後、お家の方が不在の場合など、どう対処すればよいか、相談しておいていただけると安心です。

## ☆参観日・学級懇談、よろしくお願ひします

9月20日（水）に参観日を計画しています。昨年度まで、10月の参観日で扱っていた「人権教育」に関する授業を公開する予定です。授業後には、学級（学年）懇談もありますので、ご都合を合わせていただき、多数ご参加くださいますようお願いいたします。

また、4年生の山の学習説明会、6年生の修学旅行説明会も行います。詳細は、別のご案内を出しますが、体育館と、なないろホールを会場にします。どちらも空調設備が設置されていません。まだまだ暑い時期なので申し訳ないのですが、広い部屋がありませんので、ご容赦いただきたいと思ひます。

